



学校だより

令和8年5月29日

No. 3 6月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

子どもから学ぶ

校長 小澤 孝之

5月中旬から気温が高くなり始め、今年も「暑い夏」の到来を予感する気候になりました。学校でも暑さ対策、熱中症対策を進めていきたいと思えます。こまめな水分補給・必要な休憩を意識していきます。ご家庭でも、お子様の体調管理、水分補給の準備、よろしくお願いたします。

さて、私は夜に学校を一周することがあります。普段は副校長先生が安全管理のため、回ってくださいますが、できないときは私も回ることがあります。遅い時間になると遠くの新横浜の街並みのライトがとてもきれいに見えることもあります。学校を回っているときにいつも気を付けていることがあります。それは、水道の蛇口の向きです。学校の水道水は、横浜市水道局が整備し、安全安心な水のため、飲むことができます。普段は手洗いのために蛇口の口が下向きなのですが、水を飲んだ時などは上向きになります。上向きのままにしていると、蛇口の中の水が残り、衛生的であるとは言いきれないのです。ですから、使い終わったら下向きにしておくのがよいのですが、なかなかそうはいきません。子どもたちが下校した後、学校を回ったときには、意識して見るようにし、上向きのままのものは下向きにしています。その視点を私に与えてくれたのは、私が担当した一人の子どもでした。個別支援学級のお子さんでしたが、学校から帰るときは必ず帰り道の水道の蛇口を下向きにしていきました。学校から帰るときは必ず行い、その子が通る場所はいつも蛇口が下向きでした。前の担任に話を聞くと、話をし、できたときに褒めた後は、言わなくても取り組んでいたそうです。それまで、蛇口に気を向けていなかった私もそれから、蛇口を意識するようになりました。

大人である私もまだまだ知らないことがたくさんあります。人とのかわりが新しい知識を与えてくれることがあります。今も子どもたちからたくさんの知識をもらっています。子どもの話をよく聞くことで、大人も成長していくことができます。子どもたちの成長とともに、大人である私たちがさらに成長していきたいと思えます。

5月26日より、鎌田康一教諭が体調不良のため、お休みをいただくことになりました。鎌田教諭は2～3週間ほどで復帰予定ですが、その間、小沼 佳世子教諭が着任し、指導を行います。ご理解・ご協力の程、よろしくお願いたします